

※本号に掲載しているイベントなどは、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期や中止になる可能性があります。

お知らせ

変わります！

投票終了時刻など

選挙管理委員会・☎202236

▼投票日の投票終了時刻変更

内容 午後7時まで

※従来は8時まででした。

対象 市内全投票所(54カ所)

1時間繰り
上がります！



▼商業施設に期日前投票所開設
設置場所 コムファースト・
ショッピングセンター(アピタ
足利店)1階コムコム広場
※コムコム広場が使用不可の場
合はコム広場。

開設期間 投票日の8日前の土
曜日から投票日前日の土曜日まで
(午前10時～午後7時)

※同施設の休館日は除きます。

※足利市長選挙および足利市議
会議員選挙は投票日の6日前の
月曜日からとなります。

《共通事項》

実施時期 栃木県知事選挙から

(11月執行予定)

9月末まで延長！

マイキーIDの設定支援

情報管理課・☎202115

マイナンバーカードのマイナ
ポイントを活用したキャッシュ
レス決済サービスが9月から利
用できるようになります。同ポ
イントの利用にはマイキーID
の設定が必要です。

※マイナポイントとは、マイキー
IDで管理しキャッシュレス決
済などで利用できるポイント。
場所 市役所市民ホール(本庁
舎1階)、行政サービスセンター
持ち物 マイナンバーカード

回収します

農業用廃ビニールなど

J A足利経済課・☎3071

日時・対象地区 次の各指定日
の午前9時～午後3時30分

▽7月20日(月) 渡良瀬川河北

▽21日(火) 久野地区

▽22日(水) 筑波地区

▽23日(木) 矢場川・梁田地区

▽24日(金) 御厨地区

搬入場所 足利市清掃事業(株)

(久保田町)

明日の笑顔プロジェクト2

本市では、国の『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』を活用し、地域経済と子育て世帯や生活者を支援するため、同プロジェクトを実施しています。

対象など	概要	問い合わせ先
事業者へ	○売上げが減少している中小企業者への支援金 1カ月の売上げが20%以上50%未満減少の事業者に上限10万円	商業振興課・☎202156
	○小規模事業者の店舗などへの家賃補助 飲食業、小売業などの1事業者につき6万円	
子育て・生活者へ	○子育て世帯を支援する事業 国の子育て世帯への臨時特別給付金に1万円上乗せ支給	児童家庭課・☎202137
	○雇止め、内定取消しにあった方などの一時的雇用 新型コロナウイルス感染症対応などのため補助職員雇用	人事課・☎202116
	○準要保護児童生徒の給食支援事業 学校休業中の給食費相当額として2カ月分支給	学校管理課・☎202221
ポスト コロナ時代へ	○サテライトオフィスを開設する事業者などへの助成	工業振興課・☎202110
	○ニューノーマル提案事業費補助金	
	○ポストコロナ時代に向けた基礎調査	
感染拡大 防止へ	○救急活動・避難所などでの感染防止対策の強化 感染防止衣、ゴーグル、噴霧消毒機、避難所用間仕切り などの購入	
	○公共施設、公共事業などの感染防止対策 サーマルカメラ、非接触型体温計などの購入	

※同プロジェクトの詳細を市ホームページに掲載しています。



料金 対象物により1kg当たり60〜80円(税別)

回収対象物 農業用廃ビニール、黒マルチ、肥料用空袋、苗箱

申込 7月17日(金)までに申込書類をJ A各支所

推薦してください

勤労者表彰の該当者

商業振興課・☎2159

市内の産業に従事し、その振興に寄与された方を表彰します。事業所や団体などの代表者は該当する方を推薦してください。

推薦基準 過去に国、県、市において同様の趣旨の表彰を受けた方を除き、次のいずれかに該当する方

①市内の同一事業所や団体などが24年以上勤務し、仕事ぶりが

他の模範となっている方

※従業員10人以下の場合は、20年以上勤務する50歳以上の方も対象になります。

②市内の産業に従事しているか、事業所や団体などに勤務している、指導的立場で経営の改善、優秀な人材の育成、長年にわたる健全運営などを通じて、産業の振興に特に功績のある方

③発明、創意工夫などで産業振興に特に功績があり、他の研究機関や団体などの推薦が受けられる方

推薦方法 7月31日(金)までに内申書を同課(本庁舎別館2階) ※内申書は同課または市ホームページで入手できます。

農地パトロールの実施

農業委員会・☎2239

遊休農地(不耕作地)の解消や発生防止のため、8月末まで農地利用最適化推進委員が実施しています。

★耕作されずに荒れた田畑は、病害虫が発生したり、イノシシなどが棲む恐れがありますので、農地の適正管理をお願いします。



市長コラム No.079



和泉 聡

トンネルの先の少しの光

この原稿を書いている6月初旬と、『あしかがみ』がみなさんのお宅に届く時とでは1カ月のズレがあり、刻々と変化する新型コロナウイルスの7月初めの状況を予測するのは難しいのですが、日本全国でのさまざまな取り組みが奏功して、5月中旬に第1波は抑え込みに成功しました。海外のメディアは一斉に『成功物語』として紹介しています。強制力のない外出自粛やPCR検査数の少なさが指摘されただけに、その成功は驚きをもって受け止められています。

そんな中、ノーベル賞学者・山中伸弥さんは、6月号の雑誌『文藝春秋』で橋下徹さんと対談し、日本の抑え込みについて「絶対に何か理由があるはずだ」ということです。何が理由かはわからないのですけれど、僕は仮に『ファクターX』と呼んでみます」と話しています。

そしてファクターXについて、マスクや入浴、手洗いなど日本人がもっている衛生意識の高さ、ハグや握手、大声で話すといったことが欧米より少ない文化的な違い、BCG予防接種が重症化を防いでいるとの見方などが紹介されています。別の識者ですが、室内で靴を脱ぐ習慣を挙げている人もいました。

そして山中さんは「ファクターXがわかれば」新型コロナウイルスの向き合い方は必ず変わってくる」と述べています。

私はいくつかのことを思いました。ひとつは、油断はまだ禁物だけれど、日本人はこの成功物語に自信をもっていいこと。日本の成功が、何もわからなかった未知のウイルスの対処方法について、何らかのヒントを確実に提供していること。最新の科学技術と、行動変容という名の私たちひとりひとりの取り組みが手を握れば、きっとまた何かわかるだろうこと。

真つ暗なトンネルの先に少しの光を見た、そんな思いがしたのです。

国勢調査2020

情報管理課・☎2105

10月1日(木)は国勢調査です。インターネット回答(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)か郵送での回答をお勧めします。

